



めぐりあわせ

先週 11 月 2 日に 110 周年記念式典が行われました。3 年生は集合も一番早く、開始前の空時間に参考書を開く人もいて、受験モードも出ていて 3 年生らしいと思いました。みんなが卒業する年度に、丁度学校も節目を迎えたわけです。考えてみると、みんなは最後の旧課程の卒業生になりますし、(正確には 2 年生が最後なのですが、新課程の数理を先行実施しています。) さらに、残念なことです、東日本大震災の年の入学でした。卒業や入学が (生まれが) 1 年ずれていたら、このタイミングにはならなかったわけです。もちろん、それは偶然です。誰も震災を予測して生まれたわけではないし、常盤の創立年を調べて入学したわけではありません、たまたまに過ぎません。でも、この種のタイミング (めぐり合わせ) を何となく自分たちの運命と考えてもいいのではないのでしょうか？

編集子もいわゆる宿命論は信じませんが、逆にすべてを偶然とし、因果関係も否定するようなこともできません。自分に関わって起きる様々な出来事を偶然でなく運命 (必然) と考えることで、逆に人生が豊かになるのではないかと思います。日本では「一期一会」とか「袖振り合うも他生の縁」という言葉があります。人生の中で出会う人は多くは偶然だと思うけれど、その人たちと出会ったことで、様々な喜怒哀楽を体験するわけです。偶然出会った「どうでもいい人」として接するのか、この人との出会いは何か意味があると思って真剣に付き合うのかでは、まったく違う人生になるのではないのでしょうか。この出来事や人は自分にとって運命なのだと考えることが結果として、いろいろな現象 (現実) に意味を見出し、真剣に向き合うことになるなら、運命を信じていいと思います。例えば「今日は良き人との出会いあり」との占いがあるなら、その日はいつもより人との出会いに注意を払うのではないのでしょうか。節目の年に柏崎常盤高校に在学したことを一つの運命として積極的に捉え、本校で過ごした意味を見出すことが最後の 3 年生の仕事ではないのでしょうか。その意味について自分なりに結論を出せた人が卒業後に良き思い出、自信、誇りを持つことになると思います。

そうならば、残りの高校生活を如何に過ごすのか、これが大事になります。

これからやること

●AOなどで進路が決まった人

残りの高校生活は、進学先、就職先で必要な学力を身につけるための大切な時間です。必要

な学力とは、単に英語や数学などの「知識」でなく、色々なことに興味を持ち、自分なりの学習方法で解決していく、言わば「学習するための学力」で「メタ学力」というものです。将来も恐らく直接は役に立ちそうもない科目も高校ではありますが、それらをも学習することで得られる力が必ずあります。これまで以上に、すべての授業に真剣に取り組み、自分で納得いく成績を残して卒業できるようにがんばりましょう。

●これから推薦・一般入試など勝負する人

11 月になるとさすがにあせるのは当然でしょう。そして、なぜもっと前からしなかったのだと後悔もしてくるでしょう。仕方ありません。すべての受験生がそう思っているのです。前から準備してきた人も「これで準備OK」と思っている現役生は誰もいません。遅れた現実を受け止め、出来なかった過去を諦めて次に賭けるしかありません。また、推薦入試のために、かなりの時間を小論文や面接に費やしてきたのに、結果が駄目な人も出てくるでしょう。でも、それで落ち込んでも仕方ありません。後悔して落ち込む時間がもったいないのです。潔い諦め、切り替えも受験生には大切です。一般入試で何校も受験する時に、前日の試験の出来に一喜一憂しても何の得にもなりません。今まで以上に具体的にやる事項を決め、(例えば、理社はひたすら過去問演習をやる。英語の文法を暗記する。一日のノルマを決め英単語、古単語を毎日暗記など) ただ、脇目も振らずやるだけです。自転車は走っている間は転びません。不安は勉強をやっていく中で忘れるしかないものです。

受験生だけでなく、不安を抱くすべての生徒を鼓舞する言葉を紹介します。(学校長も以前講話で紹介してくれたニーチェの言葉です。)

「いつか空の飛び方を知りたいと思っている者は、まず立ち上がり、歩き、走り、登り、踊ることを学ばなければならない。その過程を飛ばして、飛ぶことはできないのだ。」

「世界には、きみ以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め。」

「高く登ろうと思うなら、自分の脚を使うことだ。高い所へは、他人によって運ばれてはならない。人の背中や頭に乗ってはならない。」

「負けても終わりではない。やめたら終わりだ」

日本シリーズ第 7 戦での田中将大投手のリリーフが話題になっていますが、第 6 戦で負けたままで終わるわけにはいかないという意地がすべてだったのではないのでしょうか。

みんなも来年 3 月まで、まだ意地の見せ所はいくらでもあります。まだまだこれからです。最後に、体調維持することも大事な受験準備です。風邪に注意しましょう。

本日 6 ~ 7 限は社会人講話

講師はお話が素晴らしいとの評判の方です。